

イギリス現代史

100781185 小山内 義貴

目的：戦後イギリスの転換の詳細と原因究明、
政治的・経済的变化の理解

序章 はじめに

1章 第二次世界大戦後の復興(1945年～1955年)

- 1節 戦後イギリスの政治の歩み
- 2節 戦後の軍事支出過剰の結果
- 3節 社会保障制度の改革
- 4節 アトリー政府の経済政策

2章 イギリス政治の転換期(1955年～1963年)

- 1節 イーデンの戦争
- 2節 消費者文化の転換
- 3節 消費社会成長の結果

3章 労働党政権(1963年～1975年)

- 1節 労働党政権の誕生
- 2節 経済危機への対応
- 3節 1970年の総選挙
- 4節 ヒース政権の成立
- 5節 第三次ウィルソン政権

4章 サッチャー政権(1979年～1990年)

1節 サッチャー政権誕生への道

2節 3つの大きな政策

3節 フォークランド戦争から総選挙へ

4節 サッチャーの失墜までの経緯

5章 若い国家

1節 キャラハン政権

2節 ブレア政権

3節 ブラウン政権

4節 キャメロン政権

6節 今後の展望

1節

結論 戦後から現在にかけて経済面・体制面において
自国の問題がありながらも、政権が代わるにつれ
急速な回復をしている。